

成果

- ・良いパンフレットとは何かを本時までに何度も確認し、エラーモデルからも視点が明確になっていたことで、主体的に話し合うことができていた。
- ・自分たちで伝えたい相手や内容を決めたことで意欲的に活動していた。
- ・話し合いの流れを明確にしたことで、スムーズに活動に取り組んでいた。
- ・他のグループからアドバイスをもらうことで、自分たちのグループだけでは気付くことのできなかった視点到に気付くことができた。また、他のグループのレイアウトや内容を見ることで良いところにも目を向けることができ、よりよいパンフレットにするための手立てとして役立てることができた。
- ・他教科でもスライドを用いて資料を作成していたため、完成度の高いパンフレット作りを行えていた。

課題

- ・チェックポイントの項目を児童たちと一緒に考えられるとより意欲が高まったのではないか。
- ・推敲するための視点を与える際に、レイアウト面を中心に伝えてしまったので内容面の推敲が不十分になってしまった。
- ・パンフレットの改善点を伝える際に、理由も一緒に伝えると受け入れやすくなった。
- ・自分たちのグループは何を一番伝えたいのかをより明確にすると、更に深く推敲できるようになったのではないか。
- ・もらったアドバイスをもとに、よりよいパンフレットになるように話し合う時間が充分に取れなかった。
- ・振り返りの時間で、1時間を通して何を学んだか、どんなことに気付けたかを共有すると皆の考えがより深まるのではないか。
- ・作り上げたパンフレットを、校内に設置したり、地域に広めたりすることで三匹獅子舞をつないでいく実感が高まり、学習に対する意欲が育まれていくだろう。

1 年間の成果と課題

日記

◎成果

- ・文章を書くことへの抵抗が減り、どの場面でもスムーズに取り組める児童が増えた。
- ・書き始めは1マス空ける、文末の表現を揃えるなどの基本的なルールがきちんと身に付いており、こちらから声をかけなくてもその形に沿って書けるようになってきている。

◎課題

- ・基本の形を意識しすぎてしまい、自分の気持ちや会話文などの工夫をせずに完成させてしまっている児童が数名いた。低位の児童への手立ての必要性を感じた。

ICT 端末の活用

◎成果

- ・話し合い活動や構成メモ、意見文の作成に端末を活用することで、書くことが苦手でなかなかついていけないような児童でも、進んで取り組むことができていた。
- ・同じ意見でまとめたり比較したりしやすいため、話し合いの際には視覚的にもわかりやすくまとめられていた。
- ・スライドやジャムボードを使ったプレゼンテーションの活動を通して、まとめ方や色合いの工夫、文を要約することの大切さを感じ、実際に取り入れながら活動していくことができていた。

◎課題

- ・調べたことをそのままコピーすることができてしまうため、言葉の意味や内容をきちんと理解できないままスライドに載せてしまう児童が多くいた。ただ作るということではなく、相手にきちんと伝えたり、自分も理解したりするためのものであるという目的意識を持たせるようにしていきたい。

学年の取り組みで効果的だったもの

- ・自分たちの住んでいる地域から総合のテーマを選んだことで、改めて地域に目を向けるきっかけにもなり、他人事ではなく、自分たちのこととして捉え、意欲的に活動に取り組むことができていた。
- ・パンフレット作成の前に三匹獅子舞をテーマにして意見文の作成を行った。そこでのアンケート結果や自分や友だちの書いた意見文の内容をもとにし、パンフレットの内容の検討を行ったため、様々な角度から三匹獅子舞について深く考えることができていた。

今年度の研究について

- ・国語の「書く」活動と総合と兼ねることで、身近なテーマで意見文などの活動に取り組めていたため、比較的スムーズに進めることができていた。また、「書く」という活動へのハードルが下がり、ほとんどの児童が意欲的に取り組んでいた。
- ・研究を進めていく中で、国語だけではなく他教科とも兼ねられそうな単元や活動も出てきたため、別の教科同士でも実践してみたい。